

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福岡デザイン専門学校
設置者名	学校法人 双葉学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
デザイン 専門課程	総合デザイン科	夜・通信	474単位	9単位	
	高度総合デザイン科	夜・通信	506単位	12単位	
	リカレントデザイン科	夜・通信	54単位	3単位	
(備考) ・福岡デザイン専門学校では、選択科目が多いため、実務経験のある教員等による授業科目の授業単位数が多くなっています。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.fds.ac.jp/wp/wp-content/themes/fds/pdf/2019_kyouin_zyugyou.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡デザイン専門学校
設置者名	学校法人 双葉学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.fds.ac.jp/about/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 役員	2020/6/26～ 2024/5/31	経営計画の策定
非常勤	株式会社 役員	2020/6/26～ 2024/5/31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡デザイン専門学校
設置者名	学校法人 双葉学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

- ・授業計画(シラバス)の制作過程
デザイン分野の関連企業、団体や有識者で構成される教育課程編成委員会(年3回程度)を開催し、現状の授業編成及び内容の問題点の洗い出し、デザイン現場の動向や変化を読み取り、カリキュラム及び授業内容の方針を決定したうえで、全教員、講師に授業計画(シラバス)を作成、提出していただき、教務部で内容を確認しています。
- ・授業計画(シラバス)の作成・公表時期
各講師の授業計画(シラバス)の提出を2月末日まで、
教務部での内容確認、修正を3月末日まで、
公表時期を4月1日～3日に設定しています。

学校ホームページと、学内設置のサーバーにて学生が自由に閲覧できるようにしています。学生が身に付けるべき到達目標は、「本物をめざす、デザイン教育プログラム」として、ホームページとパンフレットに次のように掲載され、告知されています。

1：基礎専門プログラム

デザインを学ぶ上で大切な感性を磨く授業「総合造形」と、観察力、表現力を身につける授業「デッサンドローイング」などの基礎造形実習を中心に、デザインの考え方、展開の仕方を学びます。
また、デザインの各専門分野の基礎的な内容を学び、幅広いデザイン思考を身に付けながら、自分に合ったデザインの方向性を探ります。

2：実践専門プログラム(職業実践専門課程)

自分に合った2つの専攻を選択し、専門的なデザインの知識や技術を習得します。この実践専門プログラムは、職業実践専門課程のカリキュラムを中心に構成され、社会で活躍されているプロのデザイナーから実践的なデザイン能力を学びます。

3：応用専門プログラム

実践専門プログラムと連動したカリキュラムで、各デザイン専門分野をより深く実践的に学びます。デザイナーとして社会が求める様々なデザインに対応できる応用力を身につけます。集大成として卒業制作に取組み、デザイン表現の可能性を探ります。

4：高度専門プログラム

様々なデザイン分野を総合的な視点でとらえたマネージメント、プロデュースについて学びながら、各自のデザイン専門領域の研究を行い、より高度なデザイン力を身に付けます。

<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>1 : 基礎専門プログラム https://www.fds.ac.jp/wp/wp-content/themes/fds/pdf/Basic_Specialized_Programs.pdf</p> <p>2 : 実践専門プログラム (職業実践専門課程) https://www.fds.ac.jp/wp/wp-content/themes/fds/pdf/Practical_Professional_Programs.pdf</p> <p>3 : 応用専門プログラム https://www.fds.ac.jp/wp/wp-content/themes/fds/pdf/Applied_Programs.pdf</p> <p>4 : 高度専門プログラム https://www.fds.ac.jp/wp/wp-content/themes/fds/pdf/Advanced_Programs.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>課題評価においては、合評会などによる複数講師での評価体制を積極的に取り入れています。</p> <p>各授業科目の単位認定は授業担当講師が行いますが、教務主任や専任教員が内容の確認を行っています。</p> <p>各学年の進級には必要な取得単位が30単位以上と決められており、進級判定は教務部全員による進級判定会議で最終判定を行っています。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、成績考査規定による成績評価(S, A, B, C, Dの5段階判定)に対し、S=4、A=3、B=2、C=1、D=0のポイントを付与し、各学生の成績合計ポイント ÷ 総履修単位数 = GPA (小数点第3位以下切捨て)を算出しています。</p> <p>GPA分布状況を学年別(デザイン教育プログラム)にグラフ化し、学内にて掲示公表することで、学修到達度を総合的に判断できる指標を提供し、学習意欲の向上や学習計画などに資することを目的としています。</p> <p>※デザイン教育プログラムの説明</p> <p>(総合デザイン科)</p> <p>1年次 … 基礎専門プログラム</p> <p>2年次 … 実践専門プログラム</p> <p>3年次 … 応用専門プログラム・実践専門プログラム 高度専門プログラム (FDS デザインマイスター認定者)</p> <p>(高度総合デザイン科)</p> <p>1年次 … 基礎専門プログラム</p> <p>2年次 … 実践専門プログラム</p> <p>3年次 … 応用専門プログラム・実践専門プログラム</p> <p>4年次 … 高度専門プログラム</p> <p>(リカレントデザイン科)</p> <p>1年次 … 基礎専門プログラム デザインの経験値、習得レベルによっては、他のプログラムを履修することも可能です。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.fds.ac.jp/wp/wp-content/themes/fds/pdf/GPA_Guidelines.pdf</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学科とも卒業に必要な修得単位数をホームページ、パンフレット及び学生便覧に次のように掲載、告知しています。</p> <p>●卒業に必要な単位数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合デザイン科 100単位以上／進級制作、卒業制作Ⅲ、インターンシッププログラムの単位を含む。 ・高度総合デザイン科 130単位以上／専門科目124単位（進級制作、総合研究、卒業制作Ⅳの単位を含む）以上、インターンシッププログラムの単位を含む。 ・リカレントデザイン科 30単位以上／履修するデザイン教育プログラムの必修科目を含む。 (インターンシッププログラムを除く) <p>最終課題に必修科目として卒業制作を実施し、作品レベルの合否判定を各分野担当の全専任教員で行なっています。 卒業判定は、教務部全教員による卒業判定会議で確実にを行っています。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>総合デザイン科 https://www.fds.ac.jp/curriculum/total-design/</p> <p>高度総合デザイン科 https://www.fds.ac.jp/curriculum/advanced-total-design/</p> <p>リカレントデザイン科 https://www.fds.ac.jp/curriculum/basic-design/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福岡デザイン専門学校
設置者名	学校法人 双葉学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.fds.ac.jp/wp/wp-content/themes/fds/pdf/2020financial.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.fds.ac.jp/wp/wp-content/themes/fds/pdf/2020financial.pdf
財産目録	https://www.fds.ac.jp/wp/wp-content/themes/fds/pdf/2020financial.pdf
事業報告書	https://www.fds.ac.jp/wp/wp-content/themes/fds/pdf/2020financial.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.fds.ac.jp/wp/wp-content/themes/fds/pdf/2020financial.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン専門課程	総合デザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	100単位	15 単位	36 単位	484 単位	0 単位	0 単位
			535単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		196人	7人	8人	28人	36人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）								
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業計画(シラバス)の制作過程 デザイン分野の関連企業、団体や有識者で構成される教育課程編成委員会（年3回程度）を開催し、現状の授業編成及び内容の問題点の洗い出し、デザイン現場の動向や変化を読み取り、カリキュラム及び授業内容の方針を決定したうえで、全教員、講師に授業計画(シラバス)を作成、提出していただき、教務部で内容を確認しています。 授業計画(シラバス)の作成・公表時期 各講師の授業計画(シラバス)の提出を2月末日まで。 教務部での内容確認、修正を3月末日まで。 公表時期を4月1日～3日に設定しています。 授業計画(シラバス)公表方法 学校ホームページと、学内設置のサーバーにて学生が自由に閲覧できるようにしています。 								
成績評価の基準・方法								
<p>(概要)</p> <p>作品評価においては、合評会などによる複数講師での評価体制を積極的に取り入れています。</p> <p>各授業科目の単位認定は授業担当講師が行いますが、教務主任や専任教員が内容の確認を行っています。</p> <p>各学年の進級には必要な取得単位が30単位以上と決められており、進級判定は教務部全員による進級判定会議で最終判定を行っています。</p> <p>各学科とも最終課題に必修科目として卒業制作を実施し、担当分野の全講師による合評会を行い、作品レベルの合否判定を確実にこなしています。</p> <p>●2020年度より、成績評価の段階にS評価を加え、明確な評価基準を設定しました。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>S: 基準を大きく超えて優秀である</td> <td rowspan="2">} (20%程度)</td> </tr> <tr> <td>A: 基準を超えて優秀である</td> </tr> <tr> <td>B: 望ましい基準に達している</td> <td>(50%程度)</td> </tr> <tr> <td>C: 単位を認める最低限の基準には達している</td> <td rowspan="2">} (30%程度)</td> </tr> <tr> <td>D: 基準を大きく下回る(補習可)</td> </tr> </table>	S: 基準を大きく超えて優秀である	} (20%程度)	A: 基準を超えて優秀である	B: 望ましい基準に達している	(50%程度)	C: 単位を認める最低限の基準には達している	} (30%程度)	D: 基準を大きく下回る(補習可)
S: 基準を大きく超えて優秀である	} (20%程度)							
A: 基準を超えて優秀である								
B: 望ましい基準に達している	(50%程度)							
C: 単位を認める最低限の基準には達している	} (30%程度)							
D: 基準を大きく下回る(補習可)								

また、成績評価方式としてGPAを導入し、学生の評価基準のひとつとするとともに、学生自身が自己分析する基準として利用できるようにしました。

卒業・進級の認定基準

(概要)

- 課題評価においては、合評会などによる複数講師での評価体制を積極的に取り入れています。
- 各授業科目の単位認定は授業担当講師が行いますが、教務主任や専任教員が内容の確認を行っています。
- 各学年の進級には必要な取得単位が30単位以上と決められており、進級判定は教務部全員による進級判定会議で最終判定を行っています。
- 卒業要件については、学生便覧の卒業規定に次のように定められ、学生に告知するとともに、ホームページ、パンフレットにて公表しています。

総合デザイン科卒業要件 …100単位以上
(進級制作、卒業制作Ⅲ、インターンシッププログラムの単位を含む)

- 卒業の認定については、学生便覧の卒業規定に記載され、学生に告知されています。教務部全員による卒業判定会議の議を経て学校長が認定します。
- 卒業判定基準の策定は、教育課程編成委員会の意見を取り入れ、教務部で認定基準を策定し、運営協議会の承認を経て決定しています。

学修支援等

(概要)

- ・就職、進路に関する支援体制(学内就職ガイダンスなど)の充実
- ・経済的な支援体制(学納金軽減など)の充実
- ・学生相談に対するサポート体制の充実
- ・補講、補習などのサポート体制の構築

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
39人 (100%)	6人 (15.4%)	25人 (64.1%)	8人 (20.5%)

(主な就職、業界等)

広告デザイン、印刷デザイン、WEBデザイン、パッケージデザイン、広告企画、編集プロダクション、アニメーション、建築設計事務所、インテリアデザイン、商業施設デザイン、家具デザイン、ディスプレイデザイン、家具製造など

(就職指導内容)

就職部を設置し、経験豊かな専任職員が、統括事務局と連携しながら、学生の就職活動のサポートを推進しています。就職部は、定期的に教務主任、担任との会議を開き、学生個別の就職希望先、デザイン能力や適性などの情報を共有し、その学生にあった就職先の紹介などに努めています。

また、学年ごとに就職への意識が違っていることもあり、絶えず学生の動向などを把握し、そのとき、そのときに必要な対策をすぐに打てるように、学校全体での支援体制を構築しています。

デザイン業界での就職活動では、ポートフォリオの完成度は大きく左右します。当校では、全教員が学生の作品のレベルアップに努めるとともに、担任が担当する授業科目（自主研究Ⅰ～Ⅳ）の中でポートフォリオ制作を進めています。

●就職活動サポートプログラム

- ・1年入学次 … 入学後すぐに就活ガイダンス（就職までの流れを説明と意識付け）
- ・1年次前期 … コーチングコミュニケーションセミナー(4回開催)
- ・2年次前期 … 「就活基礎講座」(4回開催)
- ・2年次後期 … 「就活実践講座」(4回開催)
就職アンケート、ポートフォリオ、履歴書の制作
個人面談
模擬面接（ロールプレイング）実施
- ・最終学年 … 4月オリエンテーション、就活決起大会
必要に応じて個人面談を随時実施し、就職活動の状況を確認しながら、個々の希望、実情に沿う指導を行い内定に繋げています。

●インターンシッププログラム

春休み、夏休み、秋期研修期間にインターンシップを積極的に進め、最終学年では企業が希望される時期、期間に合わせるインターンシップを実施しています。

インターンシップにより就職に繋がるケースも多く、今年度も50%強がインターンシップ先より内定を頂いております。

(主な学修成果（資格・検定等）)

デザイン業界では資格が特に必要とされることはありません。最も大切な学修成果としてポートフォリオのクオリティーが問われます。

また、学校の学修成果として在校生の社会的活躍および評価は非常に重要です。学修成果の重要な発表の場として、2019年度も卒業制作展がアジア美術館で開催され、対外的に高い評価を頂きました。企業課題や団体から依頼されたデザインやポスターなどの評価も高く、デザイン業界からの信頼を得ています。

●2019 ミラノサローネに出展しました。3年連続出展

(世界最大規模のデザインイベント、「bud brand」より出展)

※2020年はコロナウイルスのため開催が中止になりました。

●建築、インテリア系の専攻、授業科目では、資格取得に向けたカリキュラムが体系的に組み立てられています。

- ・インテリアコーディネイト専攻では、在学中のインテリアコーディネイト取得を目指し、毎年、合格者が出ています。
- ・建築系の授業科目の単位を取得すれば、卒業と同時に2級建築士及び木造建築士受験資格が得られます。

- 色彩については全学生が知識を持つ必要があることから、色彩士 3 級、2 級の資格取得を目指す試験対策を含めた授業を実施しています。

《2020 年度・入賞例》

- ・「JAGDA 国際学生ポスターアワード 2020」にて銀賞・審査員賞・入選 10 作品受賞
- ・「第 31 回 TURNER AWARD 2020」にて未来賞・学校賞受賞
- ・「第 87 回毎日広告デザイン賞」にて一般公募の部 奨励賞受賞
- ・「日本タイポグラフィ年鑑 2021」 学生部門・入選 3 名
- ・株式会社サンワカンパニー主催 サンワカンパニーデザインアワード 2020
プロダクトデザイン部門一次審査通過 1 点
- ・福岡県建築士事務所協会主催 令和 2 年度建築設計競技 専門学校の部
知事賞 1 点、公益社団法人日本建築家協会九州支部支部長賞 1 点、佳作 1 点

《2020 年度・企業とのコラボレーション例》

- ・天神雑貨館・INCUBE のショーウィンドウをディスプレイ (ディスプレイ専攻)
- ・グループ展「aaaaaaaaaaaaa,」 「KiBOU」、gallery LUMO で開催 (イラスト・アート専攻)
- ・DESIGNART TOKYO 2020 “budbrand ブース” ミラノサローネ出展作品の展示
(2017 年作品・case by case、2018 年作品・花纏、2019 年作品・Mobile Volume、あわ花、fold)

(備考) (任意記載事項)

東京、福岡の第一線で活躍されているデザイン事務所への就職も含め、デザイン業界へ多くの学生が就職しています。しかし、企業の業態や求められるスキルも刻々と変化しており、その状況を随時把握し授業内容、就職活動サポートに反映させる必要があります。本校は、企業からの講師招聘をし、常に企業との情報交換を行い、就職という学修成果につなげています。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
175人	9人	5.1%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>1、メンタル的理由（病気を含む）</p> <p>2、経済的理由</p> <p>3、就学の遅れ</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>退学理由は、そのいずれもそれ相応な止むを得ない理由があります。日常の授業、学生生活ケアをできるだけ細かに指導することで、退学者を防ぐ努力を学校として取り組んでいます。また、具体的に退学を考えている学生に対しては、できるだけ休学を促し、長期的な視点に立った卒業、就職への取り組みを行っています。</p> <p>1、メンタル的理由（病気を含む）については ストレスケアの専門医である「ストレスケア義村クリニック」に校医を委託し、専門知識を持ったカウンセラーの講演を開催したり、教員に対してメンタルヘルスケア等の研修や相談も行っていきます。</p> <p>2、経済的理由については 不慮の事故や災害などによる経済状況の急変に対して、学納金の減免制度や学生からの学納金軽減申請制度などの支援体制を整えています。</p> <p>3、就学の遅れについては 放課後や、研修期間、夏や春の休暇期間などを利用して個別に補習を行い、単位取得に向けてサポートしています。</p>		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン専門課程	高度総合デザイン科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	130単位	15 単位	44 単位	524 単位	0 単位	0 単位
			583単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		33人	3人	8人	28人	36人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)													
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業計画(シラバス)の制作過程 デザイン分野の関連企業、団体や有識者で構成される教育課程編成委員会(年3回程度)を開催し、現状の授業編成及び内容の問題点の洗い出し、デザイン現場の動向や変化を読み取り、カリキュラム及び授業内容の方針を決定したうえで、全教員、講師に授業計画(シラバス)を作成、提出していただき、教務部で内容を確認しています。 授業計画(シラバス)の作成・公表時期 各講師の授業計画(シラバス)の提出を2月末日まで。 教務部での内容確認、修正を3月末日まで。 公表時期を4月1日～3日に設定しています。 授業計画(シラバス)公表方法 学校ホームページと、学内設置のサーバーにて学生が自由に閲覧できるようにしています。 													
成績評価の基準・方法													
<p>(概要)</p> <p>作品評価においては、合評会などによる複数講師での評価体制を積極的に取り入れています。</p> <p>各授業科目の単位認定は授業担当講師が行いますが、教務主任や専任教員が内容の確認を行っています。</p> <p>各学年の進級には必要な取得単位が30単位以上と決められており、進級判定は教務部全員による進級判定会議で最終判定を行っています。</p> <p>各学科とも最終課題に必修科目として卒業制作を実施し、担当分野の全講師による合評会を行い、作品レベルの可否判定を確実にこなしています。</p> <p>●2020年度より、成績評価の段階にS評価を加え、明確な評価基準を設定しました。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">S: 基準を大きく超えて優秀である</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">(20%程度)</td> </tr> <tr> <td>A: 基準を超えて優秀である</td> </tr> <tr> <td>B: 望ましい基準に達している</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">(50%程度)</td> </tr> <tr> <td>C: 単位を認める最低限の基準には達している</td> </tr> <tr> <td>D: 基準を大きく下回る(補習可)</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">(30%程度)</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table> <p>また、成績評価方式としてGPAを導入し、学生の評価基準のひとつとするとともに、学生自身が自己分析する基準として利用できるようにしました。</p>		S: 基準を大きく超えて優秀である	}	(20%程度)	A: 基準を超えて優秀である	B: 望ましい基準に達している	}	(50%程度)	C: 単位を認める最低限の基準には達している	D: 基準を大きく下回る(補習可)	}	(30%程度)	
S: 基準を大きく超えて優秀である	}	(20%程度)											
A: 基準を超えて優秀である													
B: 望ましい基準に達している	}	(50%程度)											
C: 単位を認める最低限の基準には達している													
D: 基準を大きく下回る(補習可)	}	(30%程度)											

卒業・進級の認定基準

(概要)

- 課題評価においては、合評会などによる複数講師での評価体制を積極的に取り入れています。
- 各授業科目の単位認定は授業担当講師が行いますが、教務主任や専任教員が内容の確認を行っています。
- 各学年の進級には必要な取得単位が30単位以上と決められており、進級判定は教務部全員による進級判定会議で最終判定を行っています。
- 高度総合デザイン科3年で100単位以上(進級制作、総合研究、インターンシップの単位を含む)を修得できなかった者は留年とする。
- 卒業要件については、学生便覧の卒業規定に次のように定められ、学生に告知するとともに、ホームページ、パンフレットにて公表しています。

高度総合デザイン科卒業要件 … 130単位以上

(専門科目124単位(進級制作、総合研究、卒業制作Ⅳの単位を含む)以上、インターンシッププログラムの単位を含む)

- 卒業の認定については、学生便覧の卒業規定に記載され、学生に告知されています。教務部全員による卒業判定会議の議を経て学校長が認定します。
- 卒業判定基準の策定は、教育課程編成委員会の意見を取り入れ、教務部で認定基準を策定し、運営協議会の承認を経て決定しています。

学修支援等

(概要)

- ・就職、進路に関する支援体制(学内就職ガイダンスなど)の充実
- ・経済的な支援体制(学納金軽減など)の充実
- ・学生相談に対するサポート体制の充実
- ・補講、補習などのサポート体制の構築

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	3人 (42.9%)	3人 (42.9%)	1人 (14.3%)

(主な就職、業界等)

広告デザイン、社内デザイナー、広告企画、建設業設計部、建築設計事務所など

(就職指導内容)

就職部を設置し、経験豊かな専任職員が、統括事務局と連携しながら、学生の就職活動のサポートを推進しています。就職部は、定期的に教務主任、担任との会議を開き、学生個別の就職希望先、デザイン能力や適性などの情報を共有し、その学生にあった就職先の紹介などに努めています。

また、学年ごとに就職への意識が違っていることもあり、絶えず学生の動向などを把握し、そのとき、そのときに必要な対策をすぐに打てるように、学校全体での支援体制を構築しています。

デザイン業界での就職活動では、ポートフォリオの完成度は大きく左右します。当校では、全教員が学生の作品のレベルアップに努めるとともに、担任が担当する授業科目（自主研究Ⅰ～Ⅳ）の中でポートフォリオ制作を進めています。

●就職活動サポートプログラム

- ・1年入学次 … 入学後すぐに就活ガイダンス（就職までの流れを説明と意識付け）
- ・1年次前期 … コーチングコミュニケーションセミナー(4回開催)
- ・2年次前期 … 「就活基礎講座」(4回開催)
- ・2年次後期 … 「就活実践講座」(4回開催)
就職アンケート、ポートフォリオ、履歴書の制作
個人面談
模擬面接（ロールプレイング）実施
- ・最終学年 … 4月オリエンテーション、就活決起大会
必要に応じて個人面談を随時実施し、就職活動の状況を確認しながら、個々の希望、実情に沿う指導を行い内定に繋げています。

●インターンシッププログラム

春休み、夏休み、秋期研修期間にインターンシップを積極的に進め、最終学年では企業が希望される時期、期間に合わせるインターンシップを実施しています。

インターンシップにより就職に繋がるケースも多く、今年度も50%強がインターンシップ先より内定を頂いております。

(主な学修成果（資格・検定等）)

デザイン業界では資格が特に必要とされることはありません。最も大切な学修成果としてポートフォリオのクオリティーが問われます。

また、学校の学修成果として在校生の社会的活躍および評価は非常に重要です。学修成果の重要な発表の場として、2019年度も卒業制作展がアジア美術館で開催され、対外的に高い評価を頂きました。企業課題や団体から依頼されたデザインやポスターなどの評価も高く、デザイン業界からの信頼を得ています。

●高度総合デザイン科卒業生2名が大阪芸術大学デザイン学科において「学士」を取得しました。

大阪芸術大学卒業制作では、ゼミ賞を受賞しました。

(大阪芸術大学通信教育部のデザイン学科、建築学科との併修制度)

●2019 ミラノサローネに出展しました。3年連続出展

(世界最大規模のデザインイベント、「bud brand」より出展)

※2020年はコロナウイルスのため開催が中止になりました。

●建築、インテリア系の専攻、授業科目では、資格取得に向けたカリキュラムが体系的に組み立てられています。

- ・インテリアコーディネート専攻では、在学中のインテリアコーディネート取得を目指し、毎年、合格者が出ています。

・建築系の授業科目の単位を取得すれば、卒業と同時に2級建築士及び木造建築士受験資格が得られます。

●色彩については全学生が知識を持つ必要があることから、色彩士3級、2級の資格取得を目指す試験対策を含めた授業を実施しています。

《2020年度・入賞例》

- ・「JAGDA 国際学生ポスターアワード2020」にて銀賞・審査員賞・入選10作品受賞
- ・「第31回 TURNER AWARD 2020」にて未来賞・学校賞受賞
- ・「第87回毎日広告デザイン賞」にて一般公募の部 奨励賞受賞
- ・「日本タイポグラフィ年鑑2021」 学生部門・入選3名
- ・株式会社サンワカンパニー主催 サンワカンパニーデザインアワード2020
プロダクトデザイン部門一次審査通過1点
- ・福岡県建築士事務所協会主催 令和2年度建築設計競技 専門学校の部
知事賞1点、公益社団法人日本建築家協会九州支部支部長賞1点、佳作1点

《2020年度・企業とのコラボレーション例》

- ・天神雑貨館・INCUBEのショーウィンドウをディスプレイ（ディスプレイ専攻）
- ・グループ展「aaaaaaaaaaaaa,」 「KiBOU」、gallery LUMOで開催（イラスト・アート専攻）
- ・DESIGNART TOKYO 2020 “budbrandブース” ミラノサローネ出展作品の展示
(2017年作品・case by case、2018年作品・花纏、2019年作品・Mobile Volume、あわ花、fold)

(備考) (任意記載事項)

東京、福岡の第一線で活躍されているデザイン事務所への就職も含め、デザイン業界へ多くの学生が就職しています。しかし、企業の業態や求められるスキルも刻々と変化しており、その状況を随時把握し授業内容、就職活動サポートに反映させる必要があります。本校は、企業からの講師招聘をし、常に企業との情報交換を行い、就職という学修成果につなげています。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	4人	12.5%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>1、メンタル的理由 (病気を含む)</p> <p>2、経済的理由</p> <p>3、就学の遅れ</p> <p>4、進路変更 (大学編入学・就職等)</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>退学理由は、そのいずれもそれ相応な止むを得ない理由があります。日常の授業、学生生活ケアをできるだけ細かに指導することで、退学者を防ぐ努力を学校として取り組んでいます。また、具体的に退学を考えている学生に対しては、できるだけ休学を促し、長期的な視点に立った卒業、就職への取り組みを行っています。</p> <p>1、メンタル的理由 (病気を含む) については ストレスケアの専門医である「ストレスケア義村クリニック」に校医を委託し、専門知識を持ったカウンセラーの講演を開催したり、教員に対してメンタルヘルスケア等の研修や相談も行っていきます。</p> <p>2、経済的理由については 不慮の事故や災害などによる経済状況の急変に対して、学納金の減免制度や学生からの学納金軽減申請制度などの支援体制を整えています。</p> <p>3、就学の遅れについては 放課後や、研修期間、夏や春の休暇期間などを利用して個別に補習を行い、単位取得に向けてサポートしています。</p>		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン専門課程	リカレントデザイン科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	30単位	9 単位	20 単位	60 単位	0 単位	0 単位
			89単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		1人	0人	8人	28人	36人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

- ・授業計画(シラバス)の制作過程
デザイン分野の関連企業、団体や有識者で構成される教育課程編成委員会（年3回程度）を開催し、現状の授業編成及び内容の問題点の洗い出し、デザイン現場の動向や変化を読み取り、カリキュラム及び授業内容の方針を決定したうえで、全教員、講師に授業計画(シラバス)を作成、提出していただき、教務部で内容を確認しています。
- ・授業計画(シラバス)の作成・公表時期
各講師の授業計画(シラバス)の提出を2月末日まで。
教務部での内容確認、修正を3月末日まで。
公表時期を4月1日～3日に設定しています。
- ・授業計画(シラバス)公表方法
学校ホームページと、学内設置のサーバーにて学生が自由に閲覧できるようにしています。

成績評価の基準・方法

（概要）

作品評価においては、合評会などによる複数講師での評価体制を積極的に取り入れています。
各授業科目の単位認定は授業担当講師が行いますが、教務主任や専任教員が内容の確認を行っています。
各学科とも最終課題に必修科目として卒業制作を実施し、担当分野の全講師による合評会を行い、作品レベルの合否判定を確実にこなしています。

- 2020年度より、成績評価の段階にS評価を加え、明確な評価基準を設定しました。

- | | | |
|------------------------|---|---------|
| S: 基準を大きく超えて優秀である | } | (20%程度) |
| A: 基準を超えて優秀である | | |
| B: 望ましい基準に達している | } | (50%程度) |
| C: 単位を認める最低限の基準には達している | | |
| D: 基準を大きく下回る(補習可) | } | (30%程度) |
| | | |

また、成績評価方式としてGPAを導入し、学生の評価基準のひとつとするとともに、学生自身が自己分析する基準として利用できるようにしました。

卒業・進級の認定基準

(概要)

- 課題評価においては、合評会などによる複数講師での評価体制を積極的に取り入れています。
- 各授業科目の単位認定は授業担当講師が行いますが、教務主任や専任教員が内容の確認を行っています。
- 卒業要件については、学生便覧の卒業規定に次のように定められ、学生に告知するとともに、ホームページ、パンフレットにて公表しています。

リカレントデザイン科卒業要件 …30単位以上
履修するデザイン教育プログラムの必修科目を含む。(インターンシッププログラムを除く)
- 卒業の認定については、学生便覧の卒業規定に記載され、学生に告知されています。教務部全員による卒業判定会議の議を経て学校長が認定します。
- 卒業判定基準の策定は、教育課程編成委員会の意見を取り入れ、教務部で認定基準を策定し、運営協議会の承認を経て決定しています。

学修支援等

(概要)

- ・就職、進路に関する支援体制(学内就職ガイダンスなど)の充実
- ・経済的な支援体制(学納金軽減など)の充実
- ・学生相談に対するサポート体制の充実
- ・補講、補習などのサポート体制の構築

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	1人 (50%)	1人 (50%)
(主な就職、業界等) 家具製造など			
(就職指導内容) リカレントデザイン科では、デザイン業界が自分に合っているのかを確かめる意味合いと、経済的な事情で入学をする学生も多く、進路に対しては多様な方向性でアドバイスをしています。			
<ul style="list-style-type: none"> ●就職活動サポートプログラム <ul style="list-style-type: none"> ・1年入学次 … 入学後すぐに就活ガイダンス（就職までの流れを説明と意識付け） 必要に応じて個人面談を随時実施し、就職活動の状況を確認しながら、 個々の希望、実情に沿う指導を行い内定に繋げています。 ●インターンシッププログラム 夏休み、秋期研修期間にインターンシップを積極的に進めています。 			
(主な学修成果（資格・検定等）) デザイン分野では顕著な学修成果を1年間で上げることが難しく、総合デザイン科への編入学や、もう1年間、リカレントデザイン科で学ぶ者も多くいます。			
<ul style="list-style-type: none"> ●色彩士3級、2級取得 			
(備考) (任意記載事項) 東京、福岡の第一線で活躍されているデザイン事務所への就職も含め、デザイン業界へ多くの学生が就職しています。しかし、企業の業態や求められるスキルも刻々と変化しており、その状況を随時把握し授業内容、就職活動サポートに反映させる必要があります。本校は、企業からの講師招聘をし、常に企業との情報交換を行い、就職という学修成果につなげています。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	2人	40%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>1、メンタル的理由（病気を含む）</p> <p>2、家庭事情介護</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>退学理由は、そのいずれもそれ相応な止むを得ない理由があります。日常の授業、学生生活ケアをできるだけ細かに指導することで、退学者を防ぐ努力を学校として取り組んでいます。また、具体的に退学を考えている学生に対しては、できるだけ休学を促し、長期的な視点に立った卒業、就職への取り組みを行っています。</p> <p>1、メンタル的理由（病気を含む）については ストレスケアの専門医である「ストレスケア義村クリニック」に校医を委託し、専門知識を持ったカウンセラーの講演を開催したり、教員に対してメンタルヘルスケア等の研修や相談も行っています。</p> <p>2、経済的理由については 不慮の事故や災害などによる経済状況の急変に対して、学納金の減免制度や、学生からの学納金軽減申請制度などの支援体制を整えています。</p> <p>3、就学の遅れについては 放課後や、研修期間、夏や春の休暇期間などを利用して個別に補習を行い、単位取得に向けてサポートしています。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
総合 デザイン科	50,000 円	700,000 円	240,000 円	実験実習費・施設設備費
高度総合 デザイン科	50,000 円	700,000 円	240,000 円	実験実習費・施設設備費
リカレント デザイン科	50,000 円	380,000 円	240,000 円	実験実習費・施設設備費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.fds.ac.jp/wp/wp-content/themes/fds/pdf/2020_jikohyouka_houkoku.pdf
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<p>1. 学校の教育目標、計画に沿った取組の達成状況、学校運営等への取組が適切に行われたかについて自己評価を行い、学校運営等の課題について、継続的に改善を図るとともに、評価結果を公表する。</p> <p>2. 自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、設置学科に関連する企業・団体、卒業生、保護者など、学校と密接に関係する者の理解促進を図り、継続した連携協力体制を確保するため、業界関係者、卒業生、保護者等学校関係者から規程に基づき選任した委員による「学校関係者評価委員会」を設置し「学校関係者評価」を実施する。</p> <p>3. 主な評価項目としては、教育活動に関すること、学校運営・管理に関すること、施設・設備に関すること、学生支援に関すること、将来計画に関すること、財政に関することなどとする。</p> <p>4. 当該委員会の委員の助言、意見などの評価結果や教育課程編成委員会の助言、意見などを年度末までに検討協議、計画をした上で学校長の責任において、次年度の教育活動・学校運営等の改善に活用する。</p> <p>5. 学校関係者評価委員会の構成は、企業、教育関係者、卒業生から選出し、定員を8名以上とする。</p>

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社総研 代表取締役	2021/4/1～2022/3/31	企業
株式会社マッハプロダクション 取締役	2021/4/1～2022/3/31	卒業生 (後援会会長)
株式会社イングラ 代表取締役	2021/4/1～2022/3/31	企業 (デザイン業界)
株式会社うれるや.さわやか 代表取締役	2021/4/1～2022/3/31	企業 (就職先)
株式会社斉藤工務店 取締役副社長	2021/4/1～2022/3/31	卒業生
九州大学名誉教授 マルチ映像研究スタジオ わきすた	2021/4/1～2022/3/31	教育関係者
Career& 代表	2021/4/1～2022/3/31	企業 (カウンセリング)
NPO法人FUKUOKA デザインリーグ 理事長	2021/4/1～2022/3/31	企業 (デザイン業界団体)
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.fds.ac.jp/wp/wp-content/themes/fds/pdf/2020_kankeisya_houkoku.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.fds.ac.jp/

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	福岡デザイン専門学校
設置者名	学校法人 双葉学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		23人	23人	25人
内 訳	第Ⅰ区分	15人	16人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				25人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、 高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	—人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	—人	人	人
計	—人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。